# かえってきた ちょうふ チャリティーウォーク

今月のえんがわだより特集記事は、「寄付を通じて調布のまちをより良くする」ことを目的に開催している「ちょうふチャリティーウォーク」についてご紹介します。

## 10月22日(土)開催！ ちょうふチャリティーウォーク'22

ちょうふチャリティーウォークは、2007年の冬、その当時市内にあったある企業の方から、「チャリティーを目的に開催した社内のクリスマスパーティーで集めたお金を調布のために使いたい」と、当センターの助成金プログラム「えんがわファンド」へご寄付いただいたことをきっかけに、当時の市民活動支援センタースタッフが、「調布の市民みんなが参加できるチャリティーイベントを一緒につくりましょう！」と提案し、誕生しました。この想いに多くの市内企業や市民団体、市民が賛同し、2008年の秋、記念すべき第1回ちょうふチャリティーウォークが開催されました。

### 目的

年齢を問わず楽しめます

ちょうふチャリティーウォークは以下のような目的で実施しています。

**1) 寄附文化を醸成する**
楽しくイベントに参加することで誰もが社会貢献できることを、ひとりでも多くの市民に知ってもらう。

**2) 企業、行政、教育機関、NPO、各種市民団体の協働の機会をつくる**
立場や組織文化の違いを超え、本イベントの開催に向けて協働することで、個々に成長を実感してもらう。その後の団体間での連携、協働事業に繋げる。

**3) 地域活動参加のきっかけとなる**
1日のみのイベント参加ではなく、本イベントをきっかけに地域活動への関心が高まり、活動に参加するきっかけとなる。

### 開催概要

2008年から継続してきたちょうふチャリティーウォークも、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2019年を最後に、大勢で調布のまちを歩く大規模なイベントの開催は中止していました。2020年、2021年もSNSやオンラインの活用など、新たなチャリティーウォークを模索し、挑戦を続けてきましたが、なかなか今までのように「市民みんなが参加できる」イベントとしてご案内することができず、実行委員会メンバーも不完全燃焼が続いていました。

しかし、今年は3年ぶりに市内の複数箇所にスタンプラリーのチェックポイントを配置し、全長約5キロのコースを楽しく気持ちよく歩くイベントとしてかえってきました。

### 【 イベント概要 】

**開催日時** 2022年10月22日(土)10時～16時
※雨天決行・荒天中止

**受　付** 調布駅前広場
※ちょうふチャリティーウォークののぼりが目印です

**対　象** 市内外を問わずどなたでもご参加できます

**費　用** 高校生以下100円 大人500円
※参加費はちょうふのまちをより良くするための助成金「えんがわファンド」へ全額寄付します

**そ の 他** 必要に応じてリュックや帽子、水筒などを持参してください

実行委員会の様子

ちょうふチャリティーウォーク スタンプラリーポイント

ちょうふチャリティーウォーク当日の調布駅前広場では、上布田商栄会主催の「福引大会＆謎解きゲーム2022」も同時開催していますので、ぜひご一緒にお楽しみください！

上布田商栄会

### イベント参加費が市内を循環

ちょうふチャリティーウォークの参加費は、市民活動支援センターが独自で行っている助成金「えんがわファンド」の原資になります。えんがわファンドは、調布のまちが暮らしやすくなるための活動や、地域の課題を解決するための活動などを行う調布のボランティア団体や市民活動団体をサポートしています。

今年度は選考の結果、以下の6団体を助成しています。ちょうふチャリティーウォーク当日は、助成先団体の皆さんもイベント運営にご協力くださる予定です。

**①調布市難聴者体操の会**
手話や要約筆記を用い、聴覚に障がいがある人も楽しめる体操の場を作っています。見た目にはわかりにくい障がいがあっても、誰もが暮らしやすい生活ができるように活動を続けています。

**②ワンツー水曜会**
転倒予防や健康維持のため、活動しています。講師の先生から、正しい体の動かし方や筋肉のつけ方など、個別に指導いただける点が強みです。活動を通じて、より豊かな人生を送れる方が増えることを願っています。

**③フットの会**
正しい靴を選び、正しく靴を履くことの大切さを伝える活動をしています。女性に特に多い外反母趾などの足の変形は、歩行困難のリスクがあるため、足の健康に対する関心を高め、誰もが快適に歩ける社会を目指し活動しています。

**④特定非営利活動法人 Smile up**
傾聴を学び、カウンセラースキルを持ったメンバーが、傾聴の大切さや効果を地域の方々に知っていただくため活動しています。「聴くこと」「共感すること」の大切さを伝え、ほっと心休まる場の提供やイベントなどを行っています。

**⑤生きづらわーほりプロジェクト**
「調和につながるデザインとステージ」という活動理念のもと、ひきこもりやうつ等により孤立し、生きづらさを感じている方々のサポート活動をしています。本人の想いや行動に寄り添い、抱えていた生きづらさが和らぎ、地域や社会で活き活きと暮らしていけるようになることを目指しています。

**⑥はちみつルーム**
様々な年齢や背景をお持ちの方々が、安らぎ、出会い、触れ合い、育つ、そんなきっかけの場にしたいと考え、活動をスタートしました。孤立しがちな未就園の親子さんや居場所を得にくい方が安心して過ごせる場を目指しています。

### まちをもっと好きになる「ちょうふチャリティーウォーク」

ちょうふチャリティーウォークに参加し、まちを歩く中で、新たなまちの良さに気付いたり、新しい人との出会いに縁を感じたり、様々な発見があるかもしれません。そうした小さな発見が、まちへの愛着となり、地域に目を向け、参画するきっかけになると思います。今年はイベント参加者だった人が、将来、地域課題の解決や改善の一翼を担っているかもしれません。調布のまちがいつまでも住み続けたいと思えるまちであり続けるために、まずは地域を歩いてみませんか？

問 合 せ 調布市市民活動支援センター
TEL/FAX 042-443-1220　mail npo-center@ccsw.or.jp

ちょうふチャリティーウォーク

ホームページ　Twitter　facebook

ゴールで素敵な景品がもらえるよ！